



2016
CSR 報告書

地域社会・地球環境貢献レポート

常に上を目指して

SEIYU

成友興業株式会社

一動一進 一休一退



「一動一進 一休一退」とは、「日々少しずつでも考え、行動を起こすことによって、着実に成長することに繋がられるが、反対に、その歩みを止めてしまうと、成長が止まるのみならず後退することになってしまう。」ことを意味します。

私どもは常に時代の変化に対応しながら、成長を続けなければなりません。そして、常に成長を続けるためには、その歩みを止めないためのシステムがなくてはなりません。私ども成友興業は、この理念のもとで、継続的に業務に取り組んでいます。

弊社には、建設事業と環境事業という二つの事業軸があります。両者の相乗効果を発揮させてより高い付加価値を生み出し、循環・共生・成長を続ける事業運営システム「e Synergy System」を通じて、地域社会と地球環境へ貢献し続けることが私どもの使命であると考えています。また、弊社は、平成 27 年 3 月に創立 40 周年を迎え、現在の城南島事業所に近接した場所に高度洗浄処理を主体にした城南島第二工場（仮称）も建設中であり、常に前進していく所存です。

本報告書では、まず健全な企業活動の礎であるコーポレートガバナンスやコンプライアンスなどの社内体制と、先に述べた「e Synergy System」を紹介しています。それに続き、「成友 = とも（友）だちにな（成）ろう」をひとつのキーワードとして、環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なつながり、あわせてその他の企業活動について説明しています。ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役
細沼 順人

編集方針）この報告書は弊社に關係する皆様へ、弊社の社会に対する企業活動を分かりやすくお知らせすることを目的に作成しています。成友興業株式会社 CSR 報告書は平成 25 年 5 月に初版として発行されました。今回の平成 28 年 1 月の発行で第 4 版を数えます。本報告書を通じて、弊社の CSR 活動をご理解いただければ幸いです。

会社概要（平成 27 年 9 月 30 日現在）

商号	成友興業株式会社
設立	昭和 50 年 3 月 12 日
本社	東京都あきる野市草花 1141-1
資本金	2 億 7200 万円
事業内容	舗装工事業、土木工事業、 産業廃棄物処理業、 汚染土壌処理業 他
従業員数	200 名（グループ計 370 名）
グループ会社	成友セキュリティ株式会社 東京都福生市福生 699-3

事業所

東京本店	（東京都中央区）
多摩西事業所	（東京都あきる野市）
多摩北事業所	（東京都武蔵野市）
多摩東事業所	（東京都東村山市）
東京南事業所	（東京都大田区）
埼玉西事業所	（埼玉県所沢市）
あきる野事業所	（東京都あきる野市）
城南島事業所	（東京都大田区）
福生営業所	（東京都福生市）



目次

社是・トップメッセージ	1
会社概要	2
マネジメント体制 企業価値の向上のために	3
e Synergy System 環境に配慮した建設事業モデル	5
建設事業・環境事業の紹介	7
地域と、ともだちになろう。 地域のために	9
社会と、ともだちになろう。 社会のために	11
安全と、ともだちになろう。 安全のために	13
社員と、ともだちになろう。 社員のために	15
地球と、ともだちになろう。 環境のために	17
創立 40 周年特集	20
トピックス	21
第三者意見・編集後記	22

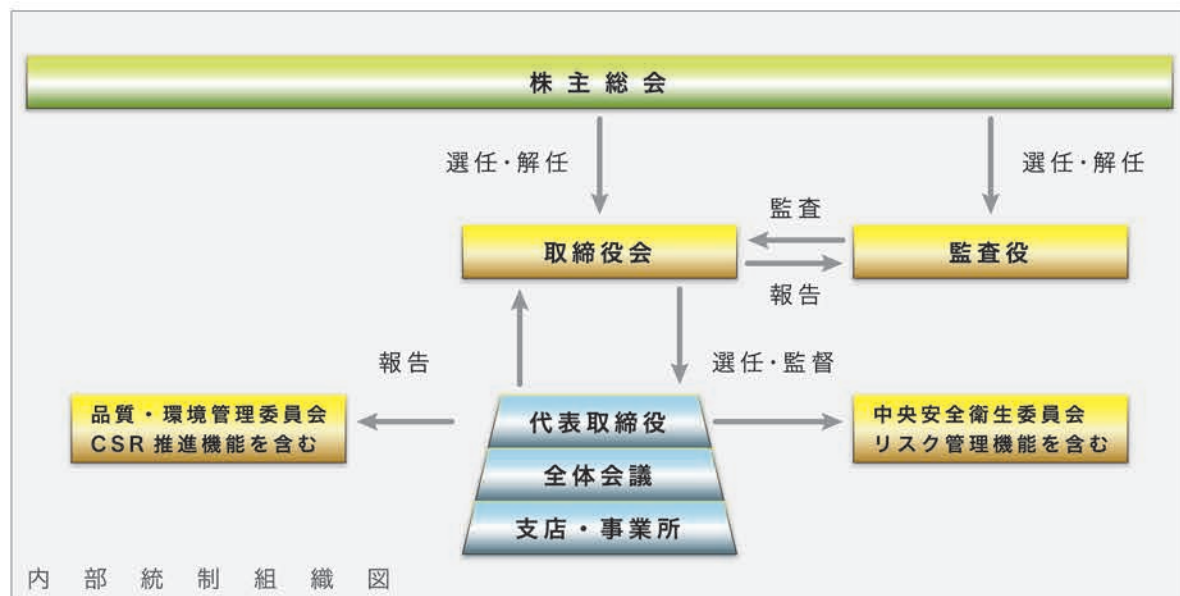
Management System

Corporate Governance

企業統治 (コーポレートガバナンス)

弊社は、情報管理や内部統制を含めたコーポレートガバナンスの強化および経営における迅速な意思決定を経営課題として位置づけています。健全な企業経営による持続的な企業価値の向上を図るために、業務の監督体制を確立し、効率の良い業務遂行を目指します。

弊社は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性と透明性を高めることにより、全ての利害関係者(ステークホルダー)の皆様への説明責任を果たし、ご満足いただける魅力的な企業の実現を目指します。



Compliance

法令・規範等順守 (コンプライアンス)

コンプライアンス経営には、企業活動における法令の順守は当然として、各社員が倫理的に正しい判断を行うことが重要です。そこで、社内研修によって従業員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、公正かつ適切な業務の遂行により企業経営への信頼を確実にすることを目指しています。

また弊社社長は西多摩地区建設業会暴力団等排除協議会の会長を務めており、弊社としても反社会的勢力との関係遮断を掲げて業務に取り組んでいます。

ISO system certification

ISO システム認証

ISO(国際標準化機構)により制定された品質マネジメントシステム規格(平成13年5月認証取得)および環境マネジメントシステム規格(平成21年2月認証取得)に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。また、平成26年2月からは両マネジメントシステムを統合した運用にも取り組んでいます。

顧客のニーズと期待に応えるとともに環境保全に努められるよう、マネジメントシステムをひとつのツールとして、継続的な改善活動を会社全体で図りながら企業価値の向上につなげています。

なお、品質および環境マネジメントシステム規格は平成27年(2015年)にISOにより改訂されました。新規格への対応も着実に実施してまいります。

The only license for treatment of the contaminated soil in Tokyo Metropolitan Area

東京都で民間唯一の汚染土壌処理業許可

日本では、公害病などを契機として土壌汚染が環境問題として認識された結果、平成14年に制定された土壌汚染対策法により汚染土壌への対応が確立されつつあります。弊社は東京都で唯一、土壌汚染対策法に基づく汚染土壌の処理業許可を保有している民間企業です。城南島事業所では、汚染土壌の適正処理を通じて、土壌環境の改善に貢献しています。今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励みます。

The JIS certification for recycled aggregate H for concrete

コンクリート用再生骨材 H の JIS 認証

弊社は、国内で初めて再生骨材 H の JIS 規格の認証を取得しました。城南島事業所で生産する再生骨材のうち、平成23年9月に再生粗骨材(5mm以上20mm以下)が、平成24年1月に再生細骨材(5mm以下)が日本品質保証機構(JQA)からそれぞれ JIS 認証(JISA5021 区分 A)を受けました。ともに全国初の認証取得であり、今後の再生骨材の利用促進に拍車がかかることが期待されます。

再生骨材 H は、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートがら・戻りコンクリートを破碎し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、バージン材(天然骨材)と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

これからも製品の品質管理体制を強化し、顧客の需要に応じてまいります。

Awarded road buildings

建設部門の受賞など

弊社は、東京都の道路工事を中心とした各種工事を受注しており、その中には平成27年6月に東京都建設局長から表彰を受けた施工事例や高評価を頂いたものもあります。関東防衛局から初めて受注した工事でも高評価を頂戴しました。また、直近に施工した福生市の工事では沿道住民の皆様のご協力もあり、福生市から高評価をいただきました。

今後も質の高い施工を心がけてまいります。



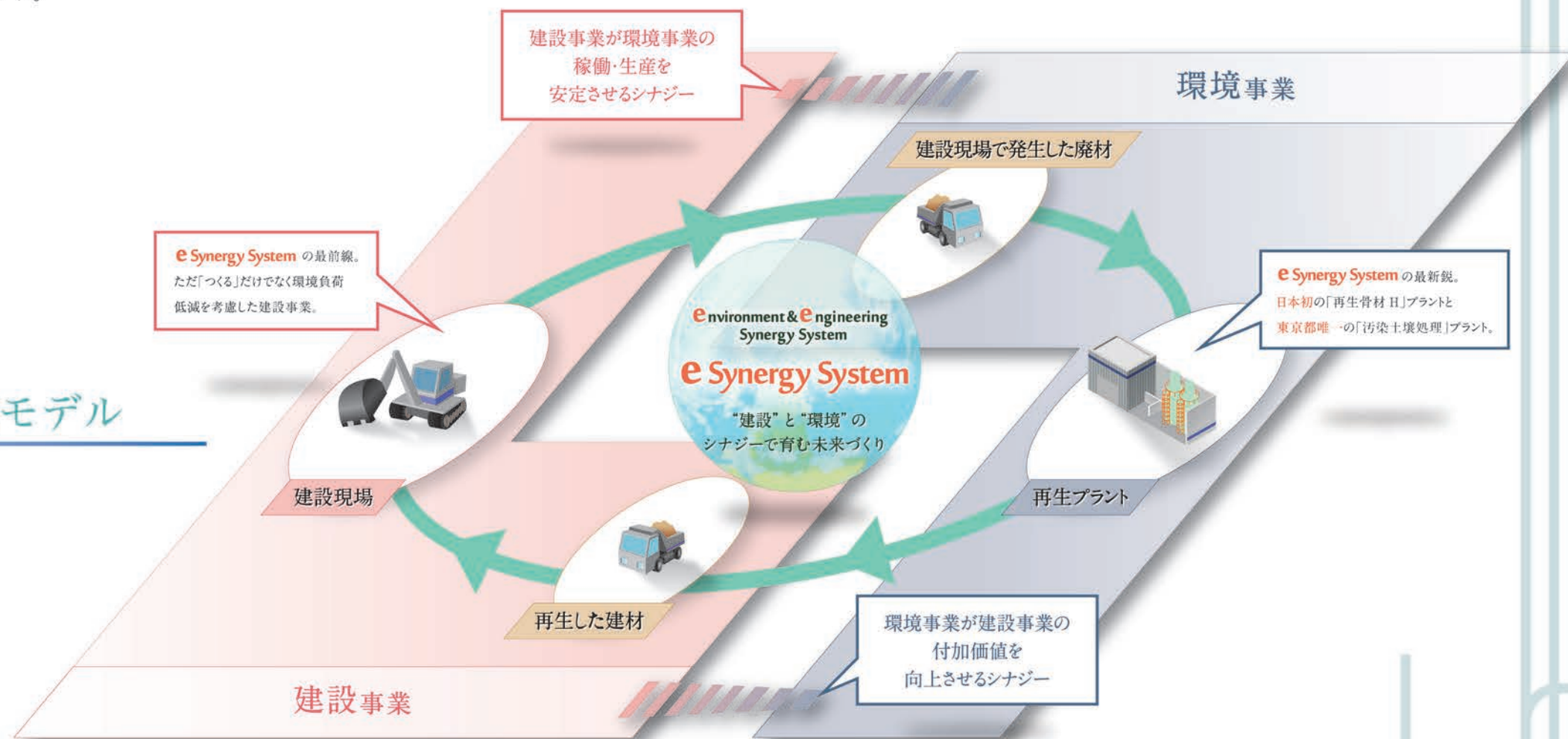
e Synergy System

e Synergy System とは、environment(環境事業)と engineering(建設事業)の synergy(相乗効果)で、環境に優しく、高品質なサービスの提供を実現するシステムのことです。建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌といったものを自社プラントで建設資材にリサイクルし、また建設現場へと戻す。この環境に配慮した仕組み「e Synergy System」を事業の中心に据え、リサイクルシステムを自社に兼ね備えた真の道路メーカーを目指しています。

Environment & Engineering Synergy System

Environment-friendly construction business model

環境に配慮した建設事業モデル



Quality & Environment Policy

品質環境方針

e Synergy System を絶えず進化させることにより、地域社会と地球環境に貢献する。

Safety & Health Policy

安全衛生方針

考えて、行動しよう。

Presentation of the construction business



建設事業若手社員のひとこと

私は平成25年4月に入社し、様々な工事現場を経験してきました。

印象に残っているのは、入社して初めての冬に経験した東京都の元請現場で、道路の凹凸を補修するという内容でした。国道に近いこともあって交通量が多く、バスが頻繁に通り、住宅地や保育園にも隣接しているという難しい条件でした。重機の接触事故防止に留意するとともに、施工性を保つためアスファルト混合物の温度が低下しないよう管理に努めました。

また、この冬には大雪にみまわれたことも記憶に残っています。除雪作業を実施せざるを得なかったため工程が大幅に遅延したことで日々の工程管理の重要性を学ぶことができました。

(入社3年目 多摩東事業所)



Presentation of the environment business

あきる野事業所 Akiruno plants

・現場で発生するコンクリート塊を受入れ破碎施設により再生製品(再生砕石)を製造します。



コンクリート塊



破碎施設



再生品

・建設汚泥を受入れ造粒固化施設で生石灰と混合することで再生品(改良土)を製造します。



建設発生土



造粒固化施設



再生品

城南島事業所 Jonanjima plants

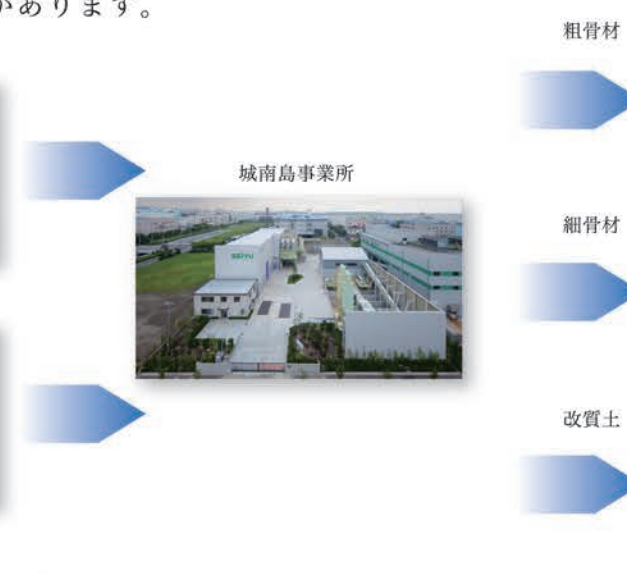
・破碎施設、造粒固化施設に加え、加熱すりもみ施設により高品質な再生骨材を製造する施設と、汚染土壌を処理する施設があります。



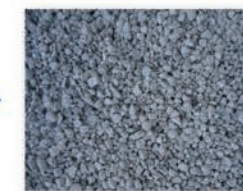
コンクリート塊



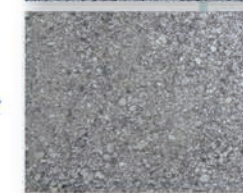
汚染土壌



粗骨材



細骨材



改質土



収集運搬 Collecting and transportation

・約100台のダンプトラック・タンク車を保有しており、産業廃棄物の収集運搬および再生品の運搬を行っています。

(対応可能エリア:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、山梨県)



環境事業若手社員のひとこと

平成25年4月に入社し、城南島事業所で働き始めました。入社当初は製造ラインの故障やトラブルが起きた際、どうしたらいいのかわからずにあたふたするだけで何もできませんでした。それでも先輩と一緒に修理・修復を行うことにより、少しずつ対処できるようになり、今ではどんなトラブルにも対応できるようになりました。また毎日しっかりと点検やメンテナンスを行うことにより、故障やトラブルが減るだけでなく機械の仕組みなどの理解が深まりちょっとした変化や異常に気付けるようになりました。そして色々なアイデアを出せるようになりプラントを良い方向に改善できるようになりました。今後どんなことでも毎日の積み重ねを大切にして、常に別の良い方法がないかを考え改善していけるように励んでいきたいと思っています。(入社3年目 城南島事業所)

For the Community 地域のために

Cleaning activities (Construction Site)

清掃活動 (建設事業工事現場)

近隣の皆様と良好な関係を築く活動の一環として日頃から、各工事現場の周辺で、状況によってはスーパー車も用いての清掃活動を行っています。



Positive participation in local events

地元行事への積極的な参加

あきる野夏祭りや、事業所に隣接した神社の例大祭において神輿の担ぎ手として参加しています。また、4日間かけて盛大に行われる福生七夕祭りにも毎年協賛しています。



Notice of the construction for regional inhabitants

地域の皆様の安全を考えた工事案内の掲示

工事の施工前には、現場周辺の皆様に分かりやすく工事内容を説明するため、看板を設置し、お知らせビラを配布しています。これは工事で発生する音などに対して、地域住民の皆様の不安を和らげることも意図しています。



Introduction of wheel loaders

タイヤショベルの導入

平成26年2月、関東地方には二度にわたり記録的な積雪がありました。その時の教訓をもとに、弊社では除雪作業にも用いることのできる小型タイヤショベルを各事業所に導入しました。

万一の積雪時には日頃お世話になっている事業所周辺の皆様の利便を第一に除雪作業にあたります。



Business continuity plan

BCP(災害時の事業継続計画)

弊社では、平成25年度に東京都産業労働局の支援のもとでBCP(災害時の事業継続計画)を策定しました。内容は下記のURLに掲載されていますので、ご覧ください。

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/keiei/BCP/bcp/pamphlet.htm>

(東京都産業労働局HP「東京都BCP策定支援事業 取組事例集」)

弊社のBCPは、発災時に社員及びその家族の安否確認を行うとともに、国道事務所および各地方自治体と締結している災害対策協定に基づく被災地の道路啓開を率先して行い、近隣住民の皆様の利便を図ることを主目的としています。さらに、国土交通省関東地方整備局で推進している「建設会社における災害時の基礎的事業継続力認定」を取得するべく活動中です。

Supporting the project of Shitamachi Bobsleigh

下町ボブスレープロジェクトへの協賛

城南島事業所は、日本のスポーツ振興に貢献するべく、事業所の所在地である大田区の「下町ボブスレープロジェクト」(公益財団法人大田区産業振興協会)に協賛しました。

下町ボブスレープロジェクトとは、大田区の中小町工場が中心となり、これまで海外から調達していたボブスレー用のソリを国産で開発し、選手のサポートや育成を行い、オリンピックでのメダル獲得を目指すモノづくりプロジェクトです。

・下町ボブスレープロジェクトの概要

<http://www.pio-ota.jp/about/bobsleigh.html>(公益財団法人大田区産業振興協会HP)

For the Society 社会のために

Welcoming the visitors to our plants

施設見学受入

城南島事業所では東京都環境局主催のスーパーエコタウン見学会にて多くのお客さまを受け入れるのに加え、行政機関、建設会社、設備企業、さらには海外からも見学希望が寄せられます。

弊社ではその希望に可能な限りお応えしており、城南島事業所とあきる野事業所を合わせて1年間で約200名の見学者が来所されました。皆様にリサイクル事業への理解を深めていただく一助となっています。



Authorization for superior business of industrial waste disposal

優良産廃処理業者認定など

弊社は、環境省が認定する優良産廃処理業者認定制度にて認定されています。その認定基準は①実績と順法性②事業の透明性③環境配慮の取組④電子マニフェストの使用⑤財務体質の健全性、の5項目です。

また、産業廃棄物中間処理業および収集運搬業に対して、適正処理、資源化および環境に与える負荷の少ない取り組みを行っている優良な業者を東京都が評価・認定する優良性基準適合認定制度(産廃エキスパート)の認定も得ています。

Publication of the information of the industrial waste disposal

産業廃棄物処理業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の「産廃情報ネット」にて、弊社の情報が公開されています。トップページの「産廃処理業者検索」にて、業者番号「009089」または、処理業者名の一部「成友」を入力することでご覧いただけます。また、弊社は環境省から優良産廃処理業者に認定されていることから、同省が運営する「優良さんばいナビ」にも掲載されています。



Internship for the students

学生インターンシップ

近隣の大学や工業高校から職業体験として学生たちを受け入れています。今後も積極的に受け入れていきたいと考えています。



Collection of used postage stamps, etc.

使用済み切手その他の回収

弊社は、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会の団体会員となっており、業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して提供しています。あきる野市社会福祉協議会では、収集した使用済み切手をボランティアの手によって剥がして整理し、収集家向けに売却して福祉活動資金の一部としています。

その他、ベルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。集めたベルマークやキャップは弊社が加盟している一般社団法人東京都産業廃棄物協会を通じ、東日本大震災で被災した子供達の支援に使われています。

Column

Activity for high-quality construction

高いクオリティの施工に向けての取り組み

- ・幅員6.0mまで舗装可能な超低騒音型のアスファルトフィニッシャーを1台導入しました。各事業所の舗装工事現場において稼働しており、高評価を頂いています。
- ・路面の平坦性測定器も導入しました。これは、道路舗装面の凹凸をミリ単位で計測し、道路の平坦性を測定する装置です。従来、外注に頼ってきたこの試験を弊社職員が納得いくまで繰り返し行えるようになり、高速道路並みの平坦性舗装を目標にクオリティが高まることが期待されます。



For the Safety

安全のために

Safety patrol

安全パトロール

建設事業、環境事業とも現場の安全パトロールを成友興業安全衛生協力会とともに月 1-2 回実施し、危険な場所がないか、危険防止処置がとられているかをパトロールしています。そのうち役員によるパトロールも年 3 回行っており、社員の安全意識を高めるのに役立っています。



Safety education for every construction site

現場単位での安全教育の実施

建設現場の安全教育は、作業に取り掛かる前の時間を使って週 1 回行っています。現場代理人が各現場の作業内容に合わせて、作業面・安全面で注意点を説明し、作業員を教育しています。作業所の重点目標に加えて、成友興業の品質環境方針・安全衛生方針、事業所の品質環境目標を作業員に伝える事によって、安全かつ高い品質の施工を行います。文章と図によって誰にでも分かりやすい説明をしています。



Preparation & Checking of the facilities and machines

機械設備や重機等の整備・点検

安全作業を行うためチェックリストを用いて機械設備、重機の整備点検を行っています。



The fire-fighting training

消火活動訓練

緊急時の対処として消火器の使用方法的な体験を目的とした消火活動訓練を行っています。



Safety education using event data recorders

ドライブレコーダーを活用した安全教育

安全の向上を図ることを目的として、全てのダンプトラックにドライブレコーダーを設置して運転状況の記録を残しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、危険の芽を事前に摘み取るのに役立っています。

また、ダンプトラックだけではなく営業車両の一部にもドライブレコーダーを導入しており、今後全ての営業車両に導入する予定です。



Safety Promotion

安全推進大会など

各事業所では、安全衛生に関する協議会を毎月実施しています。また年に一度、社員と成友興業安全衛生協力会員との合同安全推進大会を開催しています。

直近の安全推進大会は、平成 27 年 6 月に立川市のパレスホテル立川にて開催され、社員および協力会社の出席のもと、委員長訓話、安全表彰、安全宣言などを行いました。また創立 40 周年を記念して、元巨人軍投手の桑田真澄氏をお迎えして特別講演を聴講しました。



For the Employees

社員のために

Employees' training

社員研修

建設事業と環境事業という2つの事業軸を持つ弊社の社員研修は、職種により違いがあります。建設事業は建設業法等の規制、環境事業は土壌汚染対策法、廃棄物処理法等の規制を受けており、各業務を行うにあたっては専門的な知識が必要です。

弊社では社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識・技術レベルの向上を継続的に図ることで、法令の順守や事故の防止に努めています。

新入社員教育

入社後、社内(OJT)と社外(Off-JT)合わせて6ヶ月間の研修を行っています。技術系社員(土木施工管理)に対しては、社内先輩社員によるマンツーマンでの指導を4ヶ月、社外(専門の教育訓練機関)で土木基礎の講義と実習を2ヶ月行っています。

また、保険や財形預金についての新社会人向けセミナーも、外部講師を招いて社内で行っています。

資格取得の奨励

弊社では業務に必要な資格の取得を奨励しています。資格取得のために社内研修を実施するとともに、各種検定試験の受験準備講習会などの外部研修も、必要に応じて受講できるようにしています。

環境啓発教育

東京都環境局主催の産業廃棄物適正処理説明会や、アスベスト適正処理の講習会等を受講しています。また、若手社員向けのマニフェスト講習を社内で行っています。

各種講習会への参加

東京建設業協会をはじめとする各種加盟団体や、東京都などが主催する講習会等に積極的に参加できるよう努めています。若手社員フォロー研修会や産業廃棄物処理に係る基礎講習会、安全衛生研修会など、様々な職種・役職の社員がスキルアップのための講習を受けられるようになっています。

Licenses of the employees

保有資格

社員の保有資格一覧(平成27年9月30日現在)

資格名	人数	資格名	人数
1・2級土木施工管理技士	39	東京都1・2種公害防止管理者	5
1級造園施工管理技士	5	技術士(資源工学部門)	1
1・2級舗装施工管理技士	7	環境計量士(濃度)	1
廃棄物中間処理施設技術管理士	6	環境計量士(騒音・振動)	1
破碎・リサイクル施設技術管理士	5	土壌汚染調査技術管理者	1
大気関係第2種公害防止管理者	1	エネルギー管理員講習受講者	1
水質関係第2種公害防止管理者	1	第1種衛生管理者	5
ダイオキシン類関係公害防止管理者	1	運行管理者	8

Group tours

社員旅行

6-7月にかけて年に1回の社員旅行を実施しています。平成27年からは、社員数の増加もあって、事業所ごとのグループで思い思いの場所を観光しました。浅草や横浜といった近場に行った事業所もあれば、博多まで足を伸ばした事業所もあり、それぞれに旅行を楽しみました。



BBQ party for the new employees

新入社員懇親バーベキュー

毎年4月に新入社員懇親バーベキューを行っています。社長をはじめ各事業所の若手社員も参加し、親睦を深めています。



Health maintenance for employees

社員の健康維持のために

協力会社の方々も含め、毎年11月にインフルエンザの予防接種を実施しています。

また、血圧計を各事業所に配備し、社員が自由に計測できるようにしています。

Golf club

ゴルフ部会

毎年、創業日が含まれる3月に創立記念ゴルフコンペが行われます。その他にも有志によるコンペが数回開催されており、社員間の親睦が図られています。



Award for employees

社員表彰

永年勤続および業績表彰、安全表彰の各制度を設けています。



For the Global Environment 環境のために

Material balances

マテリアルバランス

弊社のプラントでは、電力や燃料といったエネルギーを消費して建設廃棄物や汚染土壌のリサイクルを行っています。

マテリアルバランスとは、事業活動に伴うエネルギーや物質の収支を意味し、それらを示すことで、事業活動の環境負荷や課題を明らかにするためのものです。



Introduction of hybrid construction machines

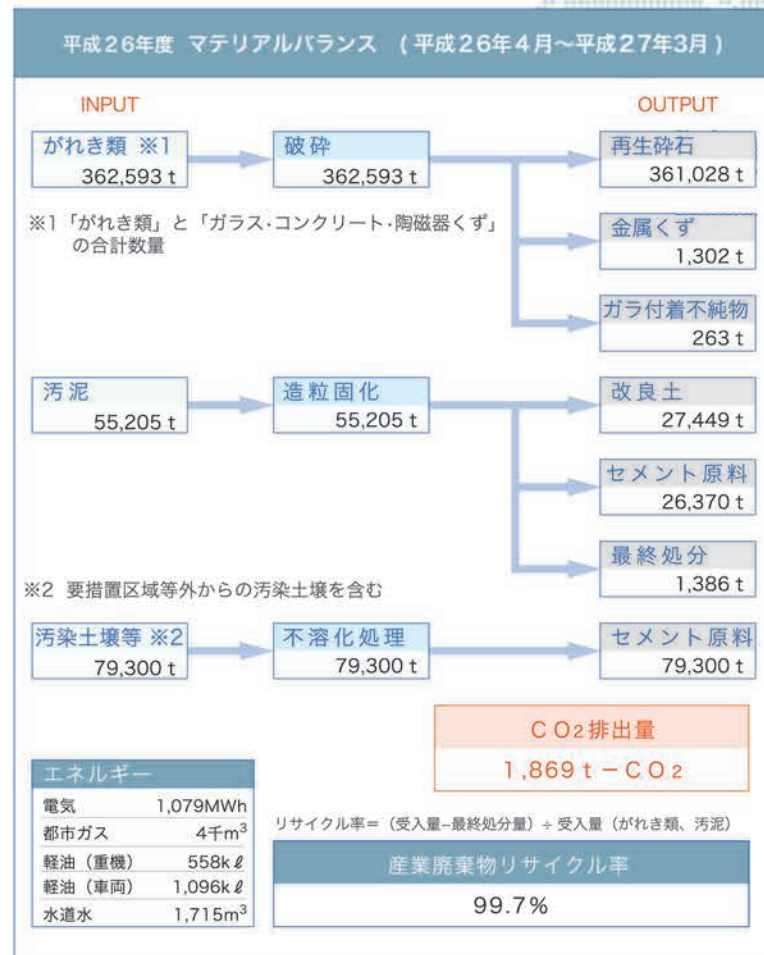
ハイブリッド建機等の導入

CO₂排出量の削減に少しでも貢献するべく、ハイブリッドショベルをいち早く導入し、あきる野・城南島の両事業所にて稼働させています。また、城南島事業所では屋内作業に伴う排ガス対策として電気駆動式油圧ショベルも導入しています。事業所で使用する重機はエコモードを積極的に活用するとともに、建機メーカーから提供される稼働データを現場にフィードバックすることにより省エネに努めています。

The transition of the intensity of CO₂ emission

CO₂ 排出量 (原単位) の推移

図は、直近5ヶ年度(4月~3月)における弊社の環境事業所(あきる野、城南島)におけるプラント処理量の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりのCO₂排出量(原単位: CO₂t/処理量千t)を棒グラフで表現したものです。城南島事業所稼働開始からの5年間でのCO₂排出量原単位は増加傾向にありますが、今後の原単位削減に向けて、データからの原因追求とその改善活動を展開して参ります。



Environment Monitoring at the plants

事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島の両事業所では、地元自治体と環境保全協定書を交わし、これらの協定に基づいて日常の公害防止と定期的な環境モニタリングに努めています。モニタリングの測定項目には自主的に設定した項目を追加しています。具体的な測定項目は表に示すとおりで、その結果には基準値超過などの問題はありません。詳細は11ページで紹介した「産廃情報ネット」の弊社ページにある、「優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項」内の「直前3年間の処理施設の維持管理の状況」に提示しておりますので、ご覧ください。

分野	項目	あきる野事業所	城南島事業所
大気	アスベスト測定	年1回	年1回
	ばい煙(ばいじん・窒素酸化物)	—	年2回
	ばい煙(降下ばいじん)	—	年1回
	粉じん(浮遊粉じん)	—	年1回
	粉じん(第二種有害物質) ※セレンを除く	—	3ヶ月に1回
水質	地下水	第一種・第二種・第三種有害物質 BOD, COD, SS	3ヶ月に1回
	排水	第二種有害物質	3ヶ月に1回
騒音・振動	(単位 dB)	月1回	月1回
放射線量	(単位 μSv/h)	月1回	月1回
再生砂・再生砕石	六価クロム溶出試験	月1回	月1回
汚染土壌等	土壌濃度計量試験 【溶出量(26項目) 含有量(9項目)】	—	月1回
	放射能濃度測定 [Bq/kg (wet)]	—	月1回

Trial for reducing the quantity of the material waste

廃棄合材量削減への取り組み

建設事業では、舗装工事で発生する廃棄合材量を削減することにより、資源の浪費という地球環境への負荷の低減に取り組んでいます。廃棄合材量をゼロにすることは現実にはほぼ不可能ですが、緻密な路盤の施工と精密な測量・管理を実施することによって、廃棄合材量を限りなくゼロに近づけるよう努めており、その成果は少しずつ上がってきています。

Environment-friendly driving

環境にやさしい運転

通勤時や現場へ自動車で移動する際のアイドリングストップを徹底しています。また独自の「プロドライバーとしての安全運転10則」を定め、急発進・急加速の禁止など環境にやさしい運転を心がけています。

Using of eco-friendly materials

環境に配慮した資材の調達

東京都建設局長を受賞した工事では、交通解放時の安全性を重視する観点から、早期解放が可能な中温化As（アスファルト）混合物の使用を技術提案し採用されました。中温化As化合物は製造温度が低くなることで燃料消費量を節減でき、CO₂ 排出量が削減できるため環境にやさしい面もあります。今後も必要性を吟味しつつ使用提案を行いたいと考えています。

Modal Shift

モーダルシフト

弊社は不溶化処理済土壌の再処理施設として全国各地にある大手セメントメーカーの各工場と契約しています。長距離運搬の際に、船舶も併用することにより運搬業務に伴って排出されるCO₂ の削減に努めています。従来は輸送コストがネックとなり、全国各地のリサイクル資源が広域的に利用されていませんでした。このモーダルシフト（輸送手段の転換）により輸送コストの低減も図れるため、必要な資源を全国単位で供給できるシステムの構築も視野に入れています。

*40th anniversary*

弊社は平成27年3月をもちまして創立40周年を迎えました。これも日頃の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝しております。これを機に気を引き締め「100年続く会社」を目指し、社員一丸となって更なる成長を続けてまいります。

今後ともご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Celebration party for the anniversary

創立40周年記念祝賀会

平成27年6月6日、パレスホテル立川にて成友興業株式会社創立40周年記念祝賀会を挙行了しました。ご多忙中にもかかわらず多くのご来賓や取引先の皆様の臨席を賜り、出席者は300名を超えました。



1975

2015

Renewal of the uniform

作業服リニューアル

弊社では創立40周年を機に、社員の作業服を一新しました。濃紺を基調とした落ち着いた色合いになりました。地球にやさしいユニフォームとして、環境省の広域認定制度対象のユニフォームリサイクルにも協力していきます。



Topics

The award ceremony of the chief of the Bureau of Construction

建設局長賞授賞式

平成 27 年 6 月 26 日 (金)、平成 27 年度建設局優良工事等表彰式が都庁にて行われ、昨年度施行された工事等のうち優良と認められた案件が建設局長表彰を受けました。

弊社が都道第 5 号線 (新青梅街道) で施工した「路面補修工事 (25 北北の 21)」が優良工事として表彰対象に選ばれ、弊社社長 細沼順人ら 3 名が出席しました。

「自分にとって初めての大型の夜間現場であり局長賞を頂けて本当にうれしく思います。次の東京都の現場も気を引き締めてがんばっていききたいと思います。」 (現場代理人 南谷貴彦: 写真中)



Starting the construction of Jonanjima 2nd plant

城南島第二工場地鎮祭

平成 27 年 8 月 24 日 (月)、弊社城南島第二工場 (仮称) の建設予定地にて、関係各社の皆様のご臨席も賜り、新築工事前の地鎮祭が行われました。設計・施工を担当する大豊建設株式会社からは、代表取締役水島久尾様をはじめとする皆様のご出席をいただき、弊社社長細沼順人の鍬入の儀など神事が滞りなく行われ、出席者全員で工事の無事な竣工を祈念しました。

第二工場は、東京スーパーエコタウンの第三次募集に応募した弊社の事業提案が平成 25 年 12 月に選定されたことを受けて計画されたものです。新工場は建設汚泥や埋設廃棄物に対して最新の高度洗浄処理を施し、ほぼ全量をリサイクル製品やセメント材料に再利用することを目的とした施設です。平成 27 年 9 月に着工し、完成は平成 28 年 11 月末を予定しています。



Third-Party Expert Comment

2020年の東京オリンピック開催にむけて、建設業界もようやく関連工事の開始動向が出てきております。環境に配慮した建設工事がますます社会的意識の一部として浸透してきており、計画、設計、施工、解体といった建設工事のあらゆる場面で環境に配慮した試みがなされることは、もはや常識になってきました。ぜひともこのタイミングで、建設工事における環境意識を「浸透」から「定着」へと進化させなければなりません。ここで、建設工事において「環境に配慮する」こととは何かを考えると、やはり建設系廃棄物の適正な処理、再利用が第一義にあげられると思います。

しかしながら、こういった社会的意識の高まりに反して、建設工事におけるコンクリート系廃棄物の高度利用や再利用には依然として課題があり、産学あげて取り組むべき余地が多く残されております。

私はこれまで、コンクリート系廃棄物の適切な処理、再利用に関する研究を進めてきた者として、多くの国外の研究者を成友興業の工場に案内してきました。海外研究者の多くは、成友興業からさまざまな刺激を受け、自国に戻ってコンクリート系廃棄物の再利用を推進されている方が多くおられます。また、東京都認可第一号の汚染土壌処理施設 (第二工場) がいよいよ来年度の完成にむけて進行中です。このように、成友興業の取り巻く状況はますます忙しくなることが予想されますが、ぜひともコンクリート系廃棄物のみならず、汚染土壌の適正処理を含めた建設系廃棄物処理業者としてのリーダーシップを発揮され、今後も、地域社会のみならず、東京都の環境に対してますますの貢献を期待しております。



東京大学大学院工学系研究科
講師 北垣 亮馬

Editorial postscript

(編集後記)

成友興業株式会社 CSR 報告書 2016 を最後までお読み下さった皆様に感謝申し上げます。2015年3月に弊社が創立 40 周年を迎えたことを機として、作成委員会を増員し、デザインの一新と増ページによる内容の充実を図りました。「地域」「社会」「安全」「社員」「環境」という 5 つの切り口で整理することによって、弊社の社会的課題への取組みとその結果を平易な表現で読者の皆様にお伝えするべく努めましたが、不十分な点も多々あるかもしれません。なにとぞご容赦いただき、本報告書が、「成友興業はこんな会社だったのか！」と弊社の社会的活動への理解を深めていただく一助となれば幸いです。ぜひとも、巻末に添付したアンケートにご回答をいただき、本報告書をお読みになったご感想やお気づきの点など忌憚らないご意見をお寄せいただきたく存じます。最後になりましたが有識者としてのご意見をお寄せいただいた北垣先生に感謝するとともに、今後とも読者の皆様を含めたステークホルダーの視点を意識し、業務改善や資質向上を通じて持続可能な企業活動を継続していききたいと思います。

対象期間 平成 26 年 10 月 1 日 ~ 平成 27 年 9 月 30 日 (一部期間外の情報を含む)

発行日 平成 28 年 1 月 29 日

作成部署 成友興業株式会社 CSR 報告書 2016 作成委員会

連絡先 成友興業株式会社管理本部 TEL 03-3538-4111 FAX 03-3538-4002

E-mail info@sei-yukogyo.co.jp



FAX : 03-3538-4002

CSR報告書2016をお読みいただきありがとうございます。

皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思いをします。

Q1. 本報告書を読まれたの感想をお聞かせ下さい。

[報告書の構成]

- 1) 分りやすさ 分りやすい 普通 分りにくい
2) ページ数・情報量 多すぎる 普通 少なすぎる

報告書の記事の中で不足していると思われる点がありましたらご記入ください。

()

[取組内容]

- 3) e Synergy System 評価できる 普通 評価できない
4) 地域・社会のために 評価できる 普通 評価できない
5) 安全・社員のために 評価できる 普通 評価できない
6) 環境のために 評価できる 普通 評価できない

特に評価できる(もしくは評価できない)ところはどこでしたか?

()

Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?

- 当社ホームページで インターネット検索で 当社営業担当より
 マスメディア() その他()

Q3. ご意見・ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。

ご住所 〒

ご氏名